

府中市美術館 公開制作88

高田安規子・政子

Fuchu Art Museum Open Studio Program 88
Akiko and Masako Takada

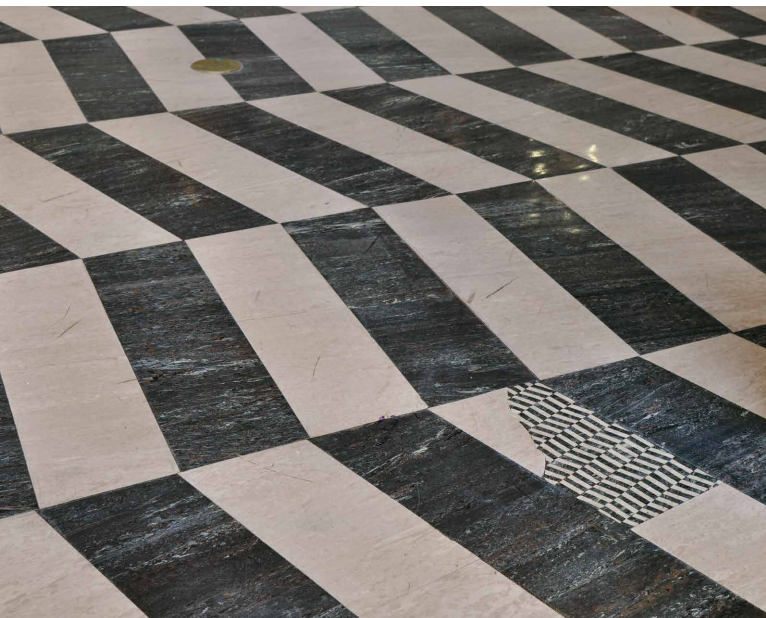
2023.12.16－2024.2.25

休館日 | 月曜日(1月8日、2月12日は開館)、12月29日(金)－1月3日(水)、1月9日(火)、2月13日(火)
開館時間 | 10:00－17:00 公開制作室 | 観覧無料

くく
りり
返返
すす
かか
タタ
チチ



《Open/Closed (部分)》 | 2023年 | ドア、12分の1スケールのドア、鍵と鍵穴プレート65個
(「部屋のみる夢」ポナールからティルマンス、現代の作家まで | 2023年 ポーラ美術館の展示風景) 撮影:加藤健



高田安規子・政子は、身近な日用品に丁寧な手を加えてスケール（縮尺）を変化させ、密やかなワンダー（驚き）を引き起こすユニットです。

スケールが変わると、見慣れたものが全く違って見えるものです。刺繍が施されて絨毯に変容したトランプ、12分の1に縮小したタイルで修復された床。私たちも小さな穴へと吸い込まれるようにして、ささやかな世界へと意識を誘われていきます。彼女たちの作品を前にすると、スイッチがそっと押されて、たちまちにあたかな想像が広がっていくのです。

公開制作にあたり、高田安規子・政子は、府中市美術館の周辺の公園、そこに広がる自然に着目します。部分と全体が同じ構造を持つという「フラクタル」の原理をベースにして、植物の葉や実のかたちにひそむ真理や法則を見出ししていきます。そこで、コラーージュや刺繍、ドローイングなどのさまざまな方法もちいて、ときに実験的に、新たな表現を探します。小さなさざなみに耳を傾けるようにして、ふたりの詩的で密やかな営みを、どうぞ観察してみてください。

公開制作 12:00 - 17:00

12月 | 16日(土)、23日(土)、27日(水)

1月 | 7日(日)、14日(日)、17日(水)、24日(水)、28日(日)

2月 | 7日(水)、10日(土)

作品展示 2月12日(月祝) - 25日(日)

2月17日(土)、18日(日)、23日(金祝)、24日(土)、25日(日) 13:00 - 17:00 は、当館普及員によるガイドがあります。その他の時間はガラス越しにご覧になれます。

ワークショップ

「くり返すカタチをつくろう!」 2月3日(土) 14:00 - 16:00

公園で自然のなかの「くり返すカタチ」を観察し、スタンプで絵をつくります。

対象・定員 | 小学生 12名

参加費(材料費) | 300円

申込方法 | 1月19日(金)まで(必着)に、往復はがき(1人1枚)に、住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話番号、返信用宛名を記入して、当館「カタチ」係へ／電子申請可

ワークショップ申し込みサイト | <https://logoform.jp/form/6ibw/407188>



アーティストトーク 2月23日(金祝) 14:00 - 講座室 60人 無料 予約不要

同時開催の企画展 「白井美穂 森の空き地」

高田安規子・政子（たかだあきこ・まさこ）

一卵性双生児のアーティスト。東京の美術大学で学んだ後、ロンドン大学スレード校で修士課程を修了する。身近な日用品のスケールを操作して、密やかなワンダー（驚き）を引き起こす。近年の展覧会に、「部屋のみる夢ーボナールからティルマンス、現代の作家まで」(2023年 ポーラ美術館、神奈川)、「日常のあわい」(2021年 金沢21世紀美術館、石川)。作品は東京都現代美術館、横須賀美術館など国内だけでなく、ロンドン大学ほか海外の機関に所蔵されている。

府中市美術館 Fuchu Art Museum

〒183-0001 東京都府中市浅間町1-3

ハローダイヤル 050-5541-8600 <https://www.city.fuchu.tokyo.jp/art/>

交通案内

京王線東府中駅北口から 徒歩17分・ちゅうバス府中駅行き「府中市美術館」①下車すぐ(8:05から30分間隔で運行)

京王線府中駅からバス ちゅうバス多磨町行き「府中市美術館」①下車すぐ(8:00から30分間隔で運行)／武蔵小金井駅南口行き(一本木経由)「天神町二丁目」②下車すぐ

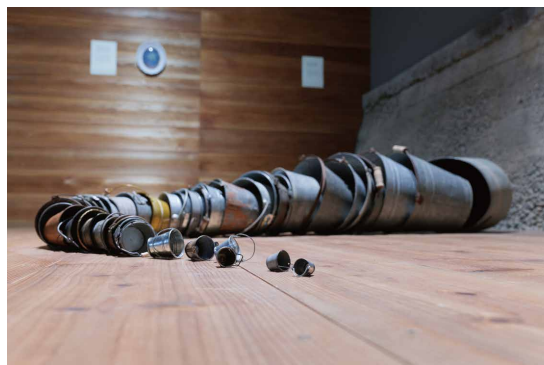
JR中央線武蔵小金井駅南口からバス 府中駅行き(一本木経由)「一本木」④下車すぐ／府中駅行き(学園通り経由)「天神町幼稚園」⑤下車徒歩8分

美術館近くの府中市臨時駐車場(無料、54台収容)がご利用になれます。



《切り札》 | 2011年 | トランプ、絹刺繍糸

タグチアートコレクション/タグチ現代芸術基金蔵 (「MOTアニュアル2014 フラグメントー未完のはじまり」2014年 東京都現代美術館の展示風景) 撮影:伊奈英次



《The lapse of time》 | 2022年 | パケツ42個

(「日本国憲法」2023年 無人島プロダクションの展示風景) 撮影:西山功一
Courtesy of The Constitution of Japan Exhibition Committee and MUJIN-TO Production



開催内容は都合により変更になる場合があります。